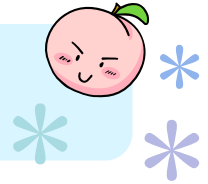


# ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん はなし 全国学校給食週間のお話（小）



がつ か きん ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん はじ  
1月24日（金）から全国学校給食週間が始まりました。

にほん さいしょ きゅうしょく いま ねんまえ やまがたけん しょうがっこう つく  
日本で最初の給食は、今から131年前、山形県の小学校で作  
られました。がっこう ちゅうしょく も こ  
のために、おにぎりや焼き魚、つけ物を用意したことが始まりと言  
われています。その後、ぜんこく ひろ だいに じ せ かい たい せん  
その後、全国へと広まりましたが、第二次世界大戦が  
はじ たい もの て はい きゅうしょく つく  
始まると食べ物が手に入らなくなり、給食を作ることができなく  
なっていました。せんそう お こ たい た  
戦争が終わってからも、子どもたちは食べる  
ものがなく、えいよう た どうじ しょうがく ねんせい  
栄養が足りていませんでした。当時の小学6年生は、  
いま しょうがく ねんせい しんちょう にほん  
今の小学4年生くらいの身長しかなかったそうです。そんな日本  
のようす み くに た もの おく  
の様子を見たアメリカやヨーロッパの国が食べ物を送ってくれたこ  
とで、きゅうしょく さいかい おお こ すく  
給食を再開することができ、多くの子どもたちが救われま  
した。

ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん どうじ こ き も がっこうきゅうしょく  
全国学校給食週間は、当時の子どもたちの気持ちや学校給食  
たいせつ あらた かんが もう わたし けんこう  
の大切さを改めて考えるために設けられました。私たちの健康を  
まも ところ ゆた がっこうきゅうしょく やくわり かんが ゆた しょくじ  
守り、心を豊かにする学校給食の役割を考え、豊かになった食事  
かんしゃ しゅうかん  
に感謝する1週間にしましょう。